

2018 年度活動報告 2019 年度活動計画

2019 年 5 月 12 日

特定非営利活動法人 イカオ・アコ

目 次

- 1 2018 年度実績と 2019 年度計画（中期ビジョン 2020 の達成のために）
- 2 会計報告
- 3 会計監査報告
- 4 2019 年度役員案
- 5 2019 年度予算案

1 2018 年度実績と 2019 年度計画（中期ビジョン 2020 の達成のために）

次ページの表は 2019 年から 2022 年の中期ビジョン案を示したものである。この表から、近年のイカオ・アコの活動実績として、(1) JICA、緑の募金、イオン環境基金などから委託金、助成金をいただき、170 万本の植林を達成した。単に植林するだけでなく、他のプロジェクトと組み合わせ、流域において社会の変革になっていること、(2) JICA、地球環境基金、イチゴプロジェクトにより、新たな価値創造に取り組み、臨海部ではエコツーリズムが生計向上に貢献し、山間部では有機農業、特産品の栽培が住民の能力開発につながっていること、(3) 日本からスタディツアーの参加者を獲得し、日本の大企業の支援も得ている。現地では数百人規模の参加者が得られる、マングローブ祭りを主催し、市民の参加が得られていること、(4) ダウンタウンにオーガニックカフェ MIDORI を開設し、有機農産物を加工して提供する。日本人ボランティアのためにベッドと食事を用意した研修センター(年間 40 人を受け入れ)を設置していることを挙げるができる。

組織運営上の課題として、中期計画が作成されていないため、中期的な目標が曖昧なままマネジメントが行われてきた。個別の環境保全型プロジェクトの事業評価はあっても、総体としてのイカオ・アコの活動の評価が十分でない。また、マネジメント上の PDCA サイクルがうまく機能していない。プロジェクト(年 10 本を実施)終了時に振り返り、評価が実施されているものの、中期計画がないために活動にフィードバックされることがあまり無い、スタッフで共有されることが少ない。2019 年度には SDGs の要素を取り込んだ中期計画の立案とともに、評価とその活用の手法の確立が必要であろう。

また、国内の人的基盤の脆弱性も挙げることができる。国内の少数精鋭のスタッフによって環境保全型プロジェクトの事務だけでなく、間接的な事務も担っている。特定のスタッフ個人の事務量が多く、疲弊感も少なくない。スタッフの事務量が多いことの一因は財政面において環境保全型プロジェクトの助成金、受託金が多いことも挙げられるが、自主事業・寄付も 25%あり健闘している。ここは人材育成としてスタッフ個人の専門性をさらに高めるとともに、役割分担の見直しや労働環境の改善をまず優先することとする。2 月に事務局員を採用できたことは幸いである。

さらに、国内で市民の参加の仕組みの少なさが挙げられる。市民参加という観点から、環境保全型プロジェクトに内外から多くのボランティアを獲得している。しかし、日本において問題・理念・目標・責任・創造・SDGs の共有という点では十分といえない。日本人ボランティアの現地での活動(毎年 100 名前後)、インターンの活動(1, 2 名)、フィリピンボランティアの参加など現地での参加の仕組みは一定のレベルに達している。日本において、理事会に近い立場のメンバーの参加が見られるものの、多様な参加の機会が少なく、民間の力を活かしきれていない。

日常的な活動を従来通り実施しながら、以上の組織基盤を強化するため、2019 年には次ページの表に挙げた各種の活動を実施する計画である。

	2018年度実績と2019年度計画（中期ビジョン2020の達成のために）					
事業名	植林事業	有機農業事業	安全な水供給事業	ソーシャルビジネス事業	国内活動	組織運営
2018年度実績	・マングローブ・上流部併せて180万本の植樹、参加者は1,700人 ・バラリン・ボカナにエコパーク造成 ・バラリンの住民団体が自立しつつある ・日本の大企業がCSRとしてイカオ・アコの活動を支援	・パホとシバトに堆肥舎が完成、土壌分析済み ・有機肥料・イチゴ栽培の専門家の派遣 ・イチゴ栽培経験3年、憐いの人農園と連携 ・ブロッコリー栽培では、憐ナコスと提携 ・ボホールに大規模液肥施設の建設	・日本水大賞受賞 ・バリグアンとシバトにランパンプを設置し、学校や地域に水を供給	・カフェ経営経験6年間 ・フェアトレード12年間 ・ゲストハウス「イロンゴ」のオープン ・国際協力研修センター運営7年間	・桜丘高校、中京大学で特別授業 ・ニチバン国内植林に参加 ・各種研修に参加しネットワーク構築 ・コアサポーターと長野視察・親子農業体験（国内で村おこしを10年間）	・日本本部事務所を移転（名古屋NGOセンターと同居し、情報共有などのメリットを追求） ・幹部候補の事務局職員を採用 ・会員管理ソフトを導入 ・会員制度を検討中
中期ビジョン2020	植林参加の目的を多様化する	「有機農業で稼ぐ！」モデルを作る	安全な水を地域・学校に届ける	ソーシャルビジネスを独立採算制にする	・SDGsへの取り組みが多くなの人に知られる ・参加型イベントが定期的に行われる	・働きやすい職場環境が整い、リスクマネジメントができる ・効果的な会員制度が完成
重点活動（2020～23年）	・植林事業の見える化に取り組む。（植林本数・映像・画像・ツールなど） ・エコパークを活用したエコツーリズムの確立 ・植林ビジネスの展開（記念植樹・マングローブウェディング・オーナー制度） ・パガバットフェスティバルなどの植林イベントを開催	・完熟堆肥の生産・販売 ・専門家現地派遣 ・完熟堆肥を使った栽培技術の研修の実施 ・現地スタッフの本邦研修 ・宣伝・研修/生産の機能を持つデモファームを運営	・モデル地区に利水設備を設置しモニタリングを実施 ・省エネルギー・省資源の利水技術をマスター ・システム上不備な点を改善し、次プロジェクトに活用	・ビジネスの専門家の派遣 ・ビジネスパートナー（現地スタッフ）の雇用 ・カフェの移転（研修センターと相乗効果）	・定期的に会員同士が交流できる場の設置 ・国内での活動拠点をもち、そこで参加型イベントを企画・運営 ・広報に関して①SNSの強化②HPの改訂③ファクトブックの作成 ・PRに使えるおしゃれなフェアトレードグッズを開発し、国内で販売	・会員制度の構築（既存の個人情報利用、効果的な会員特典、中高生向けの会員制度、入金確認がスムーズにできる管理システムの導入など） ・人事制度・就労規則・研修制度などの整備 ・国内インターン・ボランティア・プロボノの受け入れ ・総会・理事会の定期開催
2019年度計画	・年間植林参加者数が、日本人50人、フィリピン人1,800人を達成 ・植林に関するビジネス・事業を検討 ・エコパークの環境が向上（橋・看板など） ・植林の様子がリアルタイムで確認できるツールの計画 ・定期的に山間部と沿岸部の住民が交流するイベントを開催	・完熟堆肥を月に500キロ生産・販売 ・1,000平米で月20,000ペソの売り上げるモデルファームの計画 ・イチゴの生産性を日本水準の半分達成（1t/10a）	・山間部・島しょ部に合った利水技術を特定 ・1校の学校に安全な水を届ける ・上記の技術を持った技術者が2名以上育成	・オーガニックカフェの赤字が縮小 ・新たなフェアトレード商品を計画 ・自前の研修センターの建物の建設のため、土地を取得	・国内で定期的に活動 ・会員同士の顔を合わせるイベントを計画・実施 ・HPの改訂の実施 ・HPのアクセス数の増加 ・オリジナルグッズの計画	・人事制度・就業規則の整備 ・国内外でスタッフの雇用を計画 ・総会・理事会の定期的に開催 ・有料会員数が500人 ・年間の個人寄付と会費収入が合計20万円

2. 会計報告

活動計算書

平成 30年4月1日

～ 平成 31年3月31日

まで

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取入会金	100,000		100,000
正会員受取会費	0		0
賛助会員受取会費	0		0
2. 受取寄付金			
受取寄付金	2,760,266		2,760,266
3. 受取助成金等			
受取助成金	22,137,320		22,137,320
4. 事業収益			
フェアトレード事業収益	0	35,268	35,268
非営利活動事業	5,132,694		5,132,694
5. その他収益			
受取利息	80,955		80,955
雑収入	0		0
経常収益計	30,211,235	35,268	30,246,503
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,634,303	0	3,634,303
法定福利費	8,377		8,377
人件費計	3,642,680	0	3,642,680
(2) その他経費			
諸謝金	2,882,340		2,882,340
印刷製本費	450		450
会議費	44,221		44,221
旅費交通費	3,930,233		3,930,233
通信運搬費	290,017	0	290,017
消耗品費	5,095,450		5,095,450
水道光熱費	0		0
賃借料	492,229		492,229
減価償却費	0		0
租税公課	0	0	0
雑費	4,895,165		4,895,165
その他経費計	17,630,105	0	17,630,105
事業費計	21,272,785	0	21,272,785
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		0
給料手当	2,968,715		2,968,715
法定福利費	337,456		337,456
人件費計	3,306,171	0	3,306,171
(2) その他経費			
諸謝金	1,843		1,843
印刷製本費	26,851		26,851
会議費	49,914		49,914
旅費交通費	496,853		496,853
通信運搬費	175,838		175,838
消耗品費	263,306		263,306
水道光熱費	196,160		196,160
賃借料	659,964		659,964
減価償却費	0		0
保険料	0		0
租税公課	75,683		75,683
雑費	826,192	35,268	861,460
その他経費計	2,772,604	35,268	2,807,872
管理費計	6,078,775	35,268	6,114,043
経常費用計	27,351,560	35,268	27,386,828
当期経常増減額	2,859,675	0	2,859,675
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正益			0
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	2,859,675	0	2,859,675
前期繰越正味財産額			7,264,358
次期繰越正味財産額			10,124,033

貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目・摘要		金額		
I資産の部				
1流動資産				
	現金預金	10,124,033		
	未収金	0		
	前払費用	0		
流動資産合計			10,124,033	
2固定資産				
	車両運搬具	0	0	
	減価償却累計額	0		
	什器備品	0	0	
	減価償却累計額	0		
	電話加入権	0	0	
固定資産合計			0	
資産合計				10,124,033
II負債の部				
1流動負債				
	未払金	0		
	短期借入金	0		
流動負債合計			0	
2固定負債				
	長期借入金	0		
固定負債合計			0	
負債合計				0
III正味財産の部				
	前期繰越正味財産額		7,264,358	
	当期正味財産増加額		2,859,675	
正味財産合計				10,124,033
負債及び正味財産合計				10,124,033

財産目録									
平成31年3月31日現在									
									特定非営利活動法人イカオ・アコ
									単位:円
科目・摘要					金額				
I資産の部									
1流動資産									
				現金預金					
				現金 現金手許有高	1,312,224				
				普通預金 三菱東京UFJ銀行武豊支店	3,910,141				
				普通預金 ゆうちょ銀行108支店	4,901,668				
				未収金					
					0				
				前払費用					
					0				
				流動資産合計		10,124,033			
2固定資産									
				車両運搬具	0				
				什器備品					
					0				
				固定資産合計		0			
				資産合計			10,124,033		
II負債の部									
1流動負債									
				未払金					
					0				
					0				
					0				
					0				
					0				
				前受金	0				
				預り金	0				
				流動負債合計		0			
2固定負債									
				長期借入金	0				
				固定負債合計		0			
				負債合計			0		
				正味財産			10,124,033		

3. 2018 年度会計監査報告

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までの 2018 年度会計年度における会計及び業務の監査に際し、関係書類を調査した結果、すべてが適正に処理されており、遺漏、過誤のないことを確認しました。

2019 年 5 月 11 日

監 事 石川 晃子

4. 2019 年度役員案

平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日

役 名	氏 名
理事	後藤順久
理事	鈴木正典
理事	平松元夫
理事	倉田麻里
理事	二角智美
監事	石川晃子

2019年度「特定非営利活動・その他事業に係る事業会計」収支計算書

特定非営利活動法人イカオ・アコ

単位:円

科目	予算額	備考
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	200,000	
1) 入会金収入	0	
2) 正会員会費収入	100,000	
3) 賛助会員会費収入	100,000	
2 事業収入	4,030,000	
1) フェアトレード事業	30,000	
2) ロググッズ販売事業	0	
3) その他	4,000,000	
	0	
3 補助金等収入	20,000,000	
1) 民間補助金収入	12,000,000	地球環境基金、イオンなど
2) 受託収入	8,000,000	JICA、N連など
4 寄付金収入	3,000,000	
1) 寄付金収入	3,000,000	アストモス、ニチパン、横浜ゴムなど
2) 募金収入	0	
5 雑収入	0	
1) 受取利息	0	
2) 雑収入	0	
経常収入合計	27,230,000	
II 経常支出の部		
1 事業費	15,030,000	
1) フェアトレード事業	30,000	
2) ロググッズ販売事業	0	
3) その他	15,000,000	
	0	
2 管理費	10,030,000	
1) 役員報酬	0	
2) 給料手当	4,000,000	
3) 臨時雇賃金	500,000	現地労働者の雇用
4) 福利厚生費	500,000	
5) 会議費	100,000	現地での講習会開催など
6) 旅費交通費	500,000	国内出張費
7) 通信運搬費	200,000	海外宅配便、国内送料
8) 消耗什器備品費	1,500,000	
9) 消耗品費	500,000	
10) 印刷製本費	50,000	バナーなど印刷
11) 光熱水料	30,000	現地の事務所
12) 賃借料	700,000	車やボートのレンタル
13) 車両関係費	400,000	現地用車両
14) 諸謝金	0	
15) 租税公課	50,000	
16) 雑費	1,000,000	
3 予備費	0	
1) 予備費	0	
経常支出合計	25,060,000	
経常収支差額	2,170,000	
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入	0	
1) 什器備品売却収入	0	
2 繰入金収入	0	
1) 繰入金収入	0	
3 借入金収入	0	
1) 長期借入金収入	0	
その他資金収入合計	0	
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出	0	
1) 車両運搬具購入支出	0	
2) 電話加入権購入支出	0	
2 借入金返済支出	0	
1) 長期借入金返済支出	0	
その他資金支出合計	0	
当期収支差額	2,170,000	
前期繰越収支差額	10,124,033	
次期繰越収支差額	12,294,033	
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額	2,170,000	
1) 当期収支差額	2,170,000	
2) 車両運搬具購入額		
3) 電話加入権購入額		
2 負債減少額	0	
1) 長期借入金返済額		
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額	0	
1) 什器備品売却額		
2) 車両運搬具減価償却額		
3) 什器備品減価償却額		
2 負債増加額	0	
1) 長期借入金増加額	0	
当期正味財産増加額	2,170,000	
前期繰越正味財産額	10,124,033	
当期正味財産合計	12,294,033	